

令和 7 年 2 月 1 4 日

富里市長 五十嵐 博文 様

富里市行政改革推進審議会
会長 寒 郡 茂 樹

富里市第 4 次行政改革大綱(案)について (答申)

令和 7 年 1 月 2 0 日付け富経営第 8 1 号で諮問のありました標記の件について、富里市行政改革推進審議会設置条例第 2 条第 2 号の規定により下記のとおり意見を添えて答申します。

記

1 審議結果

慎重なる審議をした結果、富里市第 4 次行政改革大綱(案)は、原案のとおり承認する。

2 富里市第 4 次行政改革大綱(案)に対する審議会の意見

(1) 全般

- ・本市における行財政の課題を捉え、市民満足度の高い効率的なサービスを効果的に提供するために大綱と改革プランを一体的に編成した本案は、良くまとまったものと評価する。
- ・本市の現状把握と分析は適正に行われており、特に公債費については令和元年度から発行額の上限を設けて将来負担の抑制を図ることにより、減少傾向となっていることを評価し、今後も一定のルールに基づき将来負担の抑制に努められたい。
- ・成田空港周辺地域は空港の機能強化とともに、今後様々に発展していく地域であり、本市の人口も過去に減少と推計されながらも実質 5 万人で横ばいの状況が続いている状況である。本市は、空港の機能強化等を踏まえ、人口増加の展望をもって行政改革に取り組まれない。
- ・本大綱における改革プランを職員の一人ひとりが理解・自覚して日々の業務に取り組まれない。
- ・社会情勢等の変化のスピードは加速していることから、本大綱の計画期間中であっても、必要な場合は適宜見直すなど、フレキシブルな対応が望まれる。

(2) 基本方針1 市民満足度の高い効率的な行政サービスの推進

- ・DXは今後の業務に必要不可欠と認識しており、初期コストはかかるものの、長い目で見れば行政サービスの向上、業務の効率化に繋がるため積極的に推進されたい。
- ・市民ニーズは複雑かつ多々あり、予算の関係もあるが、市民と同じ目線で考えていただき行政改革に取り組まれない。

(3) 基本方針2 持続的発展が可能な財政運営

- ・持続的発展が可能な財政運営において、いかに歳入の確保を図るかが非常に大事ではないかと考える。自主財源を考える上で、更なる企業誘致を積極的に推進されたい。
- ・公有財産の適正な管理を行うとともに、ファシリティマネジメントの視点を取り入れ、有効な運用・活用に努められたい。
- ・市内の公共施設等の老朽化が進んでおり、改修等の計画を行う上では、統合や合理化、将来を見据え多様なニーズに対応できる複合的な施設の検討も視野に入れて取り組まれない。

(4) 基本方針3 機能的な組織体制の整備と将来を見据えた人材の確保・育成

- ・効率的な組織体制を構築するうえで、職員の適材適所への配置また、安定して働ける職場環境を整えることを意識して取り組まれない。
- ・職員の適正な人材確保は重要であり、専門資格等を有する職員の計画的な人材確保に努めるとともに、業務に精通した職員の育成に努められたい。

以上